

8020

人事極秘 乙

第壹 昭和十七年九月二日
經由 三軍殿 乙第三號

七〇師副發第四六號

特別報告(重大九軍紀違犯事項)ノ件

初十七年九月一日 第七十師團長 内田孝

陸軍大臣 東條英機殿

左記ノ者係ル首題ノ件別紙(參部)ノ通報告ス

左記

獨歩兵第三大隊第五中隊 陸軍上等兵

同 陸軍上等兵

同 陸軍一等兵

同 陸軍一等兵

同 陸軍一等兵

同 陸軍一等兵

支那派 昭和十七年九月二日
總副報第一九二號

陸軍大臣官印
17.10.1

陸軍省
17.9.28
防衛課

陸軍省
17.9.28
防衛課

陸軍省
17.10.2

陸軍省
17.10.26
兵務課

(網谷 東京)

兵、横領掠奪ニ關スル件報告

獨立歩兵第百三大隊

一所屬部隊 獨立歩兵第百三大隊第五中隊

二官等級氏名 陸軍上等兵

同

三横領掠奪、浙江省慈谿縣車底鎮警備隊衛兵所内

場所 河口省餘姚縣橫河市附近部落

八同省餘姚縣餘姚支那人家屋

四月日時 自昭和十七年三月上旬

至同 年六月十五日 間

五狀 况

前記三名ハ淋疾治療費抽出ノ多ク
支那人民家、檢索ヲ奇貨トシ、數回ニ亘リ一千
自三月上旬
至七月十五日 間

六原

因

七金

額

八處

置

九責任者處分

一其他必要事項

六百六十元ヲ掠奪シ治療費又ハ飲食費ニ

費消シ或ハ没取セル不正搬出物資ヲ他ニ賣

却代金軍票十四圓ヲ横領着服セリ

前記兩名當時淋疾ニ感染シテ之カ内容

裡治療セントシ治療費ニ窮シタルニ依ル

一千六百六十元

事件捜査ヲ配屬憲兵隊ニ委嘱シ本人ハ憲

兵隊ニ拘禁中ナリ

作戦終了後調査ノ上速ニ責任ノ歸趨ヲ明ニマ

被害兩名共ニ淋疾ニ感染シ之カ治療費ニ

窮シテタル處偶々支那人家屋ノ檢索ヲ

命セラレテ~~○~~他犯罪ヲ犯シ易キ環境ニテタルニ

因ル

兵ノ掠奪事件ニ關スル件報告

獨立歩兵第百三大隊

一 所屬部隊

獨立歩兵第百三大隊第五中隊

二 官等級氏名

陸軍上等兵

陸軍一等兵

同

三 掠奪場所

浙江省餘姚縣餘姚北城鎮支那民家屋十ヶ所

四月 日 時

自昭和十七年六月十五日二三、〇〇

至同 年六月十六日〇一、三〇 間

五 狀 况

前記三名ハ六月十五日餘姚市内ノ檢索ニ

當リ小遣錢ニ窮シタル結果單獨或ハ相

互ニ支那民家ニ至リ金錢衣服其他雜品ヲ

六原 因	掠奪其一部ヲ買附シ又ハ放棄セリ 軍紀弛緩シ何モ小遣錢ニ窮シタル結果 偶々直接上司ノ監督下ヲ離脱セル辰家ノ 檢索ヲ實施シ又ニ依ル
七、掠奪ノ金額	不詳
八、處置	事件搜查ヲ既屬憲兵隊ニ委嘱シ本人ハ 憲兵隊ニ拘禁中ナリ
九、責任者處分 其其他必要ノ事項	作戰終了後更ニ調査シ責任歸趨ヲ明ニス 被告人三名ハ部隊主力カバセ號作戰出勤後 ニテ寡少幹部ニ依ル監督困難ナル状態ニ アリタルト被告ハ當時金錢慾ニ驅レアリ

昭和一四年 小津總

兵横領切盗賭博ニ關スル報告

獨立歩兵第百三大隊

一所屬部隊 獨立歩兵第百三大隊第三中隊

二官等級代名 陸軍一等兵

三場 所 浙江省餘姚縣餘姚南城鎮直街二〇號洋水樓

茶店及南城鎮警備隊附近

四月 日 時 五狀 况

自三月至四月下旬

前記場所ニ於テ賭博ヲナシ賭錢ニ窮シ

允結果部隊酒保ヨリ煙草ヲ購入シ之ヲ

支那人ニ賣却シ或ハ密搬出中ノ土布ヲ

捕收シ之ヲ支那人ニ賣却シ又支那人ヨリ

金ヲ借用シ所屬部隊及南城鎮警備隊

<p>設備ノ寢台及セメントヲ搬出シ其ノ代償 トシ支那人ニ交付セリ</p>	<p>六原 因 軍紀弛緩シ賭博ヲナシ賭錢ニ窮シ ト幹部ノ監督不十分ナリ依ル</p>	<p>七金 額 不詳</p>	<p>八其他 置 事件判明ト共ニ餘姚憲兵隊ニ移牒セリ</p>	<p>九責任者處分 中隊長ノ監督指導不徹底ナリ依リ重謹慎 七日ニ處ス</p>	<p>一其他必要ナル 事項</p>
--	---	----------------	--------------------------------	--	-----------------------

出番一頁 三小隊部

離隊報告

昭和十七年八月十五日 獨立輜重兵第二聯隊

本籍地 愛媛縣

現住所 同 右

所 屬 獨立輜重兵第二聯隊特別訓練隊(廣第五三七二部隊)

現役 陸軍一等兵

(當二十二年)

一、發生日時

昭和十七年八月十日〇三三〇ヨリ〇六三〇ノ間

場所 湖北省鐘祥縣舊口鎮

二、違犯事項ノ概要

本人ハ本年二月初年兵トシテ當隊ニ入隊スルヤ性未體質虛弱ニシテ特別訓練隊ニ編入セラレ要注意者トシテ終始他兵ニ伍スルコト能ハズ又再三練兵休患者トシテ教練

ヲ休止シ教官以下助教助手ノ最モ注意指道守中ノ兵ナリ
 本人ハ八月九日甲夜不寝番トシテ戦友西滝惠造ト共ニ
 (自〇〇三〇 至〇三三〇) 異常ナク服務シ其ノ勤務ヲ那佐康一、芥本
 照雄兩一等兵ニ申送リタル後八月十日日朝點呼了迄、間ニ
 騎銃一及同費包九十發帶劍夏衣袴夏外套毛布
 各一ヲ携帶セル外戦友ノ時計一借用、儘離隊ス

三、原 因

本人ハ八隊前船員トシテ相當放縱ナル生活ヲ營ミ、意志薄弱常
 ニ健康勝ズ特別訓練隊ニ於テモ入院入室等多ク訓育指
 導上、要注意者ナリシガ偶々部隊ガ今次浙贛作戰ニ參
 加スルニ當リ初年兵、優秀者モ亦之ニ參加セシメ古年次兵
 ノ一部ト初年兵ノ大部殘留シ討伐其、他警備勤務等
 ノ繁劇ニ加フルニ甲支ノ酷熱時ニ際會シ自ラ戰場勤務
 ニ堪へ得ズト断念セルモノト認ム

(納谷興・京東)

四、勤 機

特別訓練隊ノ要員ハ他殘留者ニ比較シテ輕度ノ教練勤務
 等ヲ課セラレアルニ不拘上述ノ如キ行爲ハ自己ノ体力虛弱、
 爲皇軍ノ一員タリトノ觀念ヲ突發的ニ忘却セルモノト判
 断スルノ他、更ク更ニ古年次兵ノ如ク附近一帶ノ地形ヲ詳知
 セザルノミエラス、又現警備地区ヨリ近距離ノ地兵ニ新四軍等
 ノ敵匪モ存在セザルト遠距離逃亡ハ本人ノ体力之ヲ許サ
 ザル点ヨリ考察スルニ意志薄弱ニ因リ精神ノ異常ヲ来セ
 シモノト認ムル他ナシ。

五、處 置

離隊判明後直ニ憲兵沙洋鎮及應城隊ニ通報搜索方
 ヲ依頼スルト共ニ自隊兵カヲ以テ現駐地附近一帶(旧口鎮、
 羅漢寺、鄭家橋、沙港)ヲ搜索セシモ判明セズ。

尚十一日ヨリ十四日迄憲兵沙洋鎮隊、内田伍長以下二名

ノ援助ヲ得テ更ニ附近一帯ヲ搜索スルト共ニ鄂西保安軍ノ各警備隊(旧口鎮ノ周圍約二十村間ニ位置ス)ニ司令部ヲ通ジ搜索方依頼セシモ全ク不明ナリ

其ノ後初年兵全員及各関係者ヲ集合セシメ所要ノ訓示ヲ行ヒ特ニ教育者ノ指導方法ト各勤務者ノ服務ニツキ深ク反省ヲ促シ以テ將來ヲ戒ム

六、責任者ノ處分

作戰第一主義ニ將校以下出勤シ教育中途ニアル初年兵ノ大部ヲ残置シ訓練警備討伐等ニ酷暑時配屬部隊ノ他隊同様服務セシメタル關係上直接ノ責任者ヲ今回ニ限り處罰セズ訓戒ニ留メ特ニ各関係者初年兵及全員ヲ集メ逃亡罪ガ本人ノ恥辱ナルノミナラスコノ大東亞戰爭時皇軍ノ最大恥辱ナルコトヲ解説シ深ク將來ヲ戒ム

七、其ノ他ノ必要ナル事項

(納谷興・京泉)

人相

陸軍

眼ハ陰險ニシテ鼻普通口稍前ニ突キ出テ一見品位ナク

〇足(ガニ股)ニシテ圓背聲稍カスレ聲音高シ

身長一五六米 体重五三、六五冠

2. 着裝被服

戰帽(防暑重付)試製夏衣袴、夏襦袢、袴下、
巻脚絆

別ニ夏衣袴、外被、毛布各一私物品若干

3. 所持金

不詳 僅少ト推意ス

4. 家庭

母一(農業)兄一(鐵力業)妹一弟一アリテ生計下

5. 性格

意志薄弱ニシテ氣力ナク動作緩慢ニシテ節度ナク鈍感ナリ。

軍紀違反事項調書

一 違反者役種職官氏名年齢

豫備役陸軍大尉(特志七次)

當三十五年

二 被害者所屬役種官等氏名年齢

近衛師團第十陸上輸卒隊

(松田兵站南昌兵站支部單獨宿舍勤務)

補充兵役陸軍上等兵 齋藤良平

當二十六年

三 發生日時場所

日時 昭和十七年五月三十日二一〇〇頃

場所 南昌兵站支部單獨宿舍内

四 違反事項ノ概要

陸軍

違犯者

八昭和十二年八月二十五日充員召集ヲ受テ
北支ニ出征シ爾來十數回ノ作戰ニ轉戦シ漢口駐留中今次
セ號作戰參加ノタメ昭和十七年五月二十七日獨立中隊長
トシテ南昌ニ推進セルモノナル處

昭和十七年五月三十日一七三〇頃自己中隊長傳令陸軍兵
長磯久太郎ヲ伴ヒ乘馬ニテ南昌市橋應兵一〇號軍指是
食堂椿莊ニ到リ同隊附小隊長等三名ト同席會食シ
「ル」八本共ニ飲酒若干酌酌ノ上二一〇〇頃歸隊スヘッ椿
莊ヲ立出タルカ曩ニ入口附近ニ磯兵長ヲシテ繫留セシメ置
キタル乘馬ニ頭見當ラザルヲ以テ附近ヲ搜索中同食堂
ヲ給ヨリ數刻前ニ立出タル下士官カ連レ行キタルニ非ス
ヤト聞知蹄跡ヲ辿リ椿莊西方約二百米ノ南昌兵站單
獨宿舍ニ到リタルニ馬ノ進入セル足跡ヲ發見セルヲ以テ
同宿舍受附所ニ到リ當時受附勤務ヲ爲居合セタル陸

一字訂正

一字訂正

(東京・武蔵野)

陸軍

軍上等兵齊藤良平ニ付尋問セシモ「不明ナリ」ト申立テタル
 ニヨリ同所ヲ立出テ附近ヲ搜索中磯兵長ヨリ同宿舎構
 内ニ馬カ繋留シアリトノ報告ヲ受ケ直ニ現場ニ到リ馬匹ヲ點
 檢シタル處既ニ馬具類ヲ解脱シ且鬃及鬣ヲ剪剃馬相ヲ
 変ヘアルヲ目撃スルヤ前記受付兵等カ馬ヲ引連レ来リタル
 下士官等ト共謀シ盜取セルモノト即斷憤慨シテ之カ膺懲ヲ加
 ヘント決意シ再ヒ受付所ニ到リ「馬ハ此處ノ構内ニ居ル貴様カ
 知ラン筈ハナイ不届ナ奴共夕馬ヲ盗ンテ俺ノ隊ノ戦カヲ底下
 セシムル積リカ貴様等ハ馬ヲ盗ンタラウト詰問ノ後被
 害者齊藤上等兵カ事實不詳ナルニ依リ知ラサル旨答辯
 セルヲ殊更ニ詐リアルモノト曲解憤慨ノ餘リ平手ニテ改打
 或ハ蹴ル等暴行ヲナシ抵抗ナキ被害者カ起上ラントセル
 ヲ貴様ノ様々者ハ打チ斬ワテ終フルト怒號シ抜刀シテ被
 害者ノ後頭部ヲ二回斬撃シ長サ六糎及三糎深サ各一糎ノ

一字削除
一字削除

傷害ヲ加ヘ更ニ一時失神状態ニアリタル被害者ヲ屋外ニ連
レ出シ抜ケセル軍刀ニテニ回峰打ヲ加ヘ依テ顛頂部切
創ニ左肩胛鎖骨部擦過傷ニ臀部打撲傷等全治ニ
週間ヲ要ス傷害ヲ與ヘルモノナリ

五原因動機

違犯者 [redacted] ハ責任觀念旺盛ニシテ本作戰ニ於ケル
輸送能力ノ低減ヲ憂慮中隊戦力ノ任務遂行ニ関シ著
シク腐心シ爲ニ馬匹愛護及盜難豫防ニ就キ部下隊員
ニ嚴達セシ直後盜取ニ直後而責任ヲ痛感シタル結果極度
ニ憤慨被害者ヲ馬匹盜取者ト即断酒勢ト共ニ平常
心ヲ失シタルニ因ル

六處置

八憲兵八南昌兵站支部單獨宿舍ヨリノ電話通報ニヨリ
搜索ニ着手セルカ違犯者 [redacted] ハ翌朝所屬中隊

(納谷眞・執筆)

陸軍

十字標

一字訂正

0224

ヲ率テ作戰ノ爲ニ出動豫定ナルヲ以テ軍司令部ト協議
シタル^{此方誤解ナシトモ}犯罪事實明瞭トナリ軍法會議檢察官ノ
指示ニ基キ六月二日呂集團臨時軍法會議長官宛捜
索報告(書類ノミ)ニ身柄ハ六月一日中隊長トシテ作
戰参加ノ爲所屬隊ニ追及セシメタリ

又馬匹盜取者ニ関シテハ捜索シタルモ當時ハ作戰参加
部隊輻湊シアリタル爲行爲者ノ發見ニ至ラズ

七責任者ノ處分

作戰終了ヲ待テ狀況ヲ明カニシタル後責任者ヲ處^置ス

八其ノ他參考事項

ノ經歷職業教育程度

明治四十一年八月二十五日父^黒ノ長男トシテ生レ昭和二
年三月群馬縣立澁川中學校ヲ卒業シ家業ニ從事中
一年志願兵トシテ同年十二月一日輜重兵第十四聯隊

二入隊昭和三年十一月退營シ昭和四年三月三十一日豫備
 役輜重兵少尉ニ任官家業ノ傍ラ村内公共事業ニ従事
 中昭和十二年八月二十五日充員召集ニ依リ入隊第十四
 師團第三兵站輜重兵中隊附トシテ同年九月三十日
 北支ニ出征シ昭和十三年三月第七次特別志願將校ト
 シテ採用セラレ爾來十數回ノ作戰ニ参加シ左大腿部貫
 通銃創ヲ受ケ昭和十六年十二月陸軍輜重兵學校第
 一次學生トシテ入校シ昭和十七年四月卒業五月六日荊
 州駐留所屬隊ニ復歸セシ號作戰参加ノ爲五月二十
 七日來贛シタルモノナリ

乙. 性格素行前科

性豪放豁達ナルモ稍々頑固ノ嫌アリ素行普通ナリ
 前科ナシ

丙. 違犯セル法ニ對スル認識ノ程度

(納谷真・京東)

陸軍

認識充分ナリ

4. 家庭ノ狀況

本籍地ニ父

〔黒〕

(當六十四年) 母

〔黒〕

(當六十四年) 妻

〔黒〕

(當三十二年) 長男

〔黒〕

(當十一年) 二男

〔黒〕

(當十年) 長

女

〔黒〕

(當八年) 次女

〔黒〕

(當五年) ノ七名ヲ

自作農田約

三町歩ヲ

耕シ村内中流ノ

生計ヲ爲シアリ

5. 郷軍入會ノ有無

郷軍分會ニ入會シアリ

6. 其ノ他

違犯者

〔黒〕

ハ憲兵隊ノ取調後

責任ヲ痛感シ被

害者ニ對シ五十圓ヲ見舞金トシテ贈與セリ

(以上)

軍紀違犯事項報告遅延理由書

第十四師團第三兵站輜重兵中隊長



ノ軍紀

違犯事項ハ五月三十日發生セシモノナルガ報告遅延セルハ
右中隊長カ浙贛作戰参加ノ爲南昌集結出發直前
ノ事故ニシテ六月一日自己中隊ニ追及セシメラル

所屬部隊長ハ報告ニ接セズ六月十日附九江憲兵隊長
ヨリ荊州殘留隊宛通牒ニ依リ八月十三日附該通牒
寫添付ノ上報告アリタルヲ以テ直々ニ本報告ニ及ヘルモノナリ

陸軍

(納谷典・東京)

逃亡離隊者ニ關スル件報告

昭和十七年八月九日 自動車第三十聯隊

一 逃亡離隊者所屬官等級氏名

自動車第三十聯隊第一中隊

陸軍一等兵

大正

生

二 逃亡離隊セル日時場所

昭和十七年八月八日 九時三十分

支那湖北省當陽縣當陽

三 逃亡離隊セル當時ノ概要

本人ハ本年一月入隊セル昭和十六年度徵集現役兵ニシテ入隊後約五ヶ月間ノ初年兵教育ヲ終了シ七月一日小隊ニ編入ヲ命セラレ爾後小隊長野口見習士官ノ當番トシテ熱心明朗ニ服務シ其ノ成績ハ優

中田 陸軍

秀ナリ

當日中隊ハ當陽―河溶鎮間、糧秣輸送ニ任シテ
 リテ中隊主力ハ七時三十分車廠ヲ出發ス
 本人ハ小隊長ト共ニ行動スヘキ豫定ナリシモ出發ノ
 際車廠附近ニ見當ラス大聲ヲ以テ呼フモ應
 答ナキ爲小隊長ハ本人ヲ残置シタルマ、出發ス
 部隊出發後約十分間ニシテ本人車廠ニ出テ来リ
 取残サレタルヲ知リテ困惑セル表情ヲナシツ、當番
 室ニ入り平素ト變ラス食事ノ後始末ニ任シ居リ
 九時三十分豫テ小隊長ヨリ買物ヲ命セラレアリト
 詐稱シ軍酒保ニ行クトテ他ノ一名ヲ残留當番(小
 林見習士官ノ當番ヨリ「ミルク」購入代金二円(小林
 見習士官ヨリ残留當番ニ預ケ置キシ金)ヲ預リ銃
 劍ヲ装シ週番下士官ノ下ニ至リ前項事情ヲ具申

陸軍

シ公用證ヲ受取り九時三十分表門ヲ出テタルマ、
行方不明トナル

尚本人ノ行方不明後本人ノ担当ニ屬スル野口見習士官ノ私物箱中ヨリ封筒在中ノ現金壹百拾圓紛失シアルヲ發見ス（八月六日見習士官ハ現金ヲ確認シテ）

西原因動機

本人ハ性格明朗行動活潑積極的ニシテ下士官候補者ヲ志願シ軍隊ヲ嫌忌シアルモノトハ認め難シ

入隊前ノ操行風評ニ關シテハ再三郷里関係機関ニ問合せ中ナルモ未タ回答ニ接セス

但シ入隊後ノ成績ハ優秀ニシテ悪行ヲ認めス
平素ノ行狀本人ノ性格ヨリ判断スルニ出發時刻ニ遅レタルヲ氣ニ遣ミ逃亡セルモノトハ思ハレズ

離隊後本人担当ノ野口見習士官ノ私物箱中ヨリ現

金壹百拾圓紛失シテ照ヨリ判断シ或ハ連日ニ酷暑
 一為發作的ニ精神ニ異状ヲ生シタルモノニ非スヤト思
 考セラレ

尚私物箱ノ現金所在ハ野口見習士官及本人ノ外
 之ヲ知レルモノナシ

五處置

通番下士官ハ十二時残留當番ヨリ本人ノ未タ歸隊セサル
 旨報告ニ接シ残留員ヲ以テ心當リ搜索シタルモ見アタラス
 十四時中隊主力ノ歸隊ト共ニ全力ヲ以テ當陽
 一帯ノ搜索ヲ實施ス

翌九日早朝當陽憲兵隊ニ搜索方ヲ依頼スル
 ト共ニ再度搜索隊ヲ編成シ當陽近傍再搜
 索ヲ輸送ヲ利用シテ十里鋪―宜昌間ノ沿
 道ヲ搜索セルモ之ヲ發見スルニ至ラス

六、責任者ノ處分

聯隊長ハ責任者タル中隊長ヲ譴責處分ス

七、其ノ他必要ナル事項

一、携行兵器 三十年式銃劍（五ニ三七ニ）

二、着裝被服 戰帽（垂ナシ）軍衣（新式折襟）

軍袴 編上靴ニ卷脚絆ヲ穿テ認

識票ハ携行シアラス

公用證（竹村隊五號）

三、特徵

身長一六〇八米 体重五七匹 丸顔

赭顔、眼稍ミクボミアリテ眼光ニ

威アリ 諸動作活潑ナルモ言語ニ

稍ミ鹿兒島訛リアリ

四、健康狀態

徵兵検査時体格等位ハ甲種ニシテ

入隊後モ健康ナリ

陸軍

左鼓膜ニ穿孔アルモ對話ニ妨ナシ
 5. 本人ノ常ニ所持セル現金約十圓ヲ携帶セル外貯
 金其他ノ私物ハ一切之ヲ残置シマリ
 6. 本籍 鹿兒島

7. 家庭ノ狀況

父母健在ニシテ農業(小作)ニ従
 事シ村内下位ノ生活ヲナス
 姉一、弟二、妹三アリ共ニ健在ニ
 シテ家事又ハ國民學校ニ通學ス
 本人ハ入營前家業ノ手傳ニ旁
 自動車助手ニ従事シ本人入營
 ノシメニ依ル家庭ノ影響甚シ

以上

東京・八木製餅

U

0734

傷害事件調書

一 違犯者ノ本籍所屬役種官等氏名年齢

本籍 神奈川縣

所屬 自動車第三十三聯隊第一中隊

豫備役陸軍伍長

當二十六年

二 被害者ノ住所職業氏名年齢

住所 江西省南昌市河東會館三十三號

軍特殊慰安所金海館慰安婦

藝名松子亭 尹 京 其

當二十五年

三 發生日時場所

日時 昭和十七年六月九日二三五〇頃

場所 南昌市河東會館三十三號

陸軍

四 違犯事項ノ概要

軍特種慰安所 金海館内

ハ昭和十七年六月九日一九三〇頃所屬隊ニ於ケル下士官以上ノ會食ニ臨席酒氣ヲ帶ヒニ〇〇頃同隊小隊長櫻井少尉引卒ノ下ニ同僚ニ名ト共ニ外出シ南昌市興亞路軍人會館及ヒ興亞菜館ニ於テ順次飲酒泥酔シ途中前記同僚ト別レニ三三〇頃單獨ニテ河東會館三十三號軍特種慰安所金海館ニ到リ當時待合所ニ休息中ノ慰安婦松子ト泥酔ノ餘リ口論ノ末憤激シ同慰安婦ニ對シ三十二年式軍刀(鞘ニ納メタル儘)ニテ同ヤノ頭部ヲ一回強打シ頭部中央部ニ長ク約五釐深サ一・五釐ノ全治ニ週間ヲ要スル切創ノ傷害ヲ與ヘタルモノナリ

五 原因動機

被本人ハ性温順ニシテ實直責任觀念旺盛ナルモ意志薄弱ナ

(納谷 義・東京)

リ會、上司ノ怒勢ニ基ク會食ヲ機ニ外出シ酒席ヲ重ネ泥酔シタル爲理性ヲ失ヒ且ソ婦ヤヲ輕視シタルニ因ル

六處置

被配屬部隊長本人ノ報告ニヨリ翌六月十日ロロ頃ヨリ調査ヲ開始シタルモ常人トノ關係事項ニシテ而モ作戰中之カ調査困難ナリシト會々憲兵南昌隊ヨリ本人ノ調査ニ関シ連絡アリタルヲ以テ其捜査ヲ同隊ニ依托セリ

本人ハ被配屬部隊長調査ニ際シテモ深ク謹慎シアリテ前非ヲ悔イ改悛ノ情極メテ顯著ナルヲ以テ爾後ノ經過ニ鑑ミ軍法會議ノ結果ニ照ラシテ處置スル意見ナリ

七責任者ノ處分

本人犯行ノ跡ヲ考察スルニ引卒シタル櫻井小隊長ニ對シテハ其指導適切ナラザル點アルカヤク思性セラル、モ目下作戰遂行中ナルヲ以テ將來ノ爲訓誡スルニ止メ爾後本屬部隊長

ノ意見並軍法會議ノ結果ヲ待テ處置スル意見ナリ
八其他ノ必要ナル事項

ノ經歷職業教育程度

大正六年三月八日實父

ノ四男トシテ出生昭和六年本

籍地御幸尋常高等小學校高等科ヲ卒業シ薪炭商ニ

二年間年期奉公ヲナシ其後東京市蒲田區道塚町ニ薪

炭雜貨商ヲ經營中ノ
ノ養嗣子トシテ縁組ヲナシ

家業ニ從事中昭和十三年八月一日近衛輜重兵聯隊ニ特務

兵トシテ入營引續キ同年九月二十五日臨時召集ヲ令セラ

レ同年十月十日渡支九江ニ上陸第十兵站自動車隊ニ歸

入爾來數次ノ作戰ニ參加後湖北省荊門縣沙洋鎮ニ駐留

中七ノ號作戰參加ノ屬昭和十七年六月一日南昌ニ前進ス

ニ性格平素ノ勤務並ニ素行前科

平素温順實直ニシテ責任觀念旺盛本務遂行ニ精勵シ其

(館谷眞・東京)

二字訂

一字訂

成績良好ナリ

然レトモ稍々意志薄弱ノ嫌ヒアリ

素行普通

前科ナシ

3 家庭ノ状況

東京市蒲田區道塚町二八ニハニハ養父 (當五十九

歳)養母 (當五十六歳)ノ兩名ノミテ砂糖食塩ノ小

賣商ヲ營ニ質素ナル世計ヲナシ時局下一意養嗣

子ノ奉公ノ全カラハコトヲ念シアリ

4 其他

悔イ

本人ハ犯行後前非ヲ悔止自責ノ念ニ堪ヘスシテ慰安婦

ニ與ヘル營業上ノ損失ニ對シ衷心ヨリ同情シ被害者ニ對

シ金四拾圓ノ見舞金ヲ贈與セハトシテ巴マス所屬小隊

長ハ其誠意ヲ認メ被害者ニ交付セリ

陸軍